

※宮崎県※ 平成22年度市町村総生産 生産額は約3兆4千億円 対前年比0.2%増

宮崎県は、このほど平成22年度県内市町村民経済計算を明らかにした。

それによると、平成22年度の市町村内総生産は3兆4,901億円で平成21年度と比較すると84億円(0.2%)の増加となり市部がプラス0.7%、都部がマイナス2.6%で都部の落ち込みを市部の増加が上回り3年ぶりのプラス成長となった。

総生産額の増加率を見ると増加率が高いのは西米良、日向市、西都市で増加の要因は西米良村が建設業、日向市及び西都市が製造業であった。また減少率が大きかったのは川南町が農業、五ヶ瀬町が製造業、国富町が建設業であった。

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

一方、第2次産業では、全ての産業が減少し、18.8%減となった。第3次産業では、不動産やサービス業等が増加したため、1.0%増となった。当圏域の総生産に対する各産業の構成比は、第1次産業が5.1%、第2次産業が25.5%、第3次産業が68.8%となっており、市町村平均に比べ第2次産業の構成比が高くなっている。近年、製造業の割合が増加傾向にある。圏域の特徴として、農業は全圏域の農業総生産の約25%を占め、シェア率が最も大きくなっている。運輸業や卸売・小売業は宮崎東諸県に次いでそれぞれ約21%、約17%を占めており、製造業は宮崎県北部に次いで約27%を占めている。

市町村	実数	増加率
市町村計	3,490,071	0.2
宮崎市	1,252,439	-2.7
都城市	570,481	3.1
延岡市	437,832	4.2
日向市	176,126	-3.6
小林市	134,152	2.7
日向市	202,323	12.1
串間市	51,968	-0.8
西都市	86,078	10.0
えびの市	67,060	-6.2
三股町	51,921	2.6
高瀬町	21,509	-5.5
国富町	48,131	-6.5
綾町	25,350	-0.8
高鍋町	62,335	-1.5
新富町	66,286	-5.2
西米良村	6,302	17.6
木城町	15,604	-6.3
川南町	47,144	-11.9
都農町	21,904	-4.3
門川町	40,952	6.4
諸塚村	6,733	7.7
権佐村	12,176	9.9
美郷町	18,768	4.6
高千穂町	41,943	-8.5
日之影町	12,857	3.9
五ヶ瀬町	11,715	-6.8

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

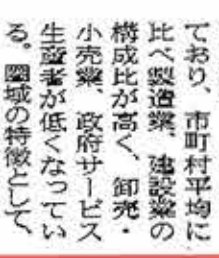
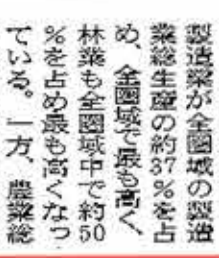
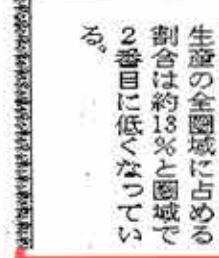
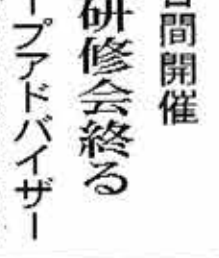
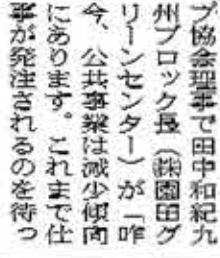
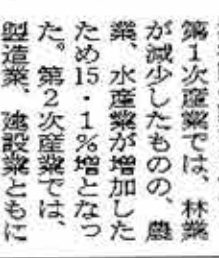
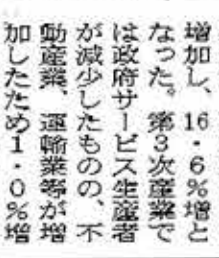
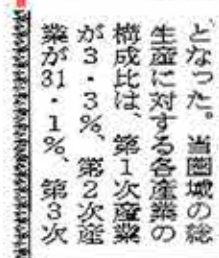
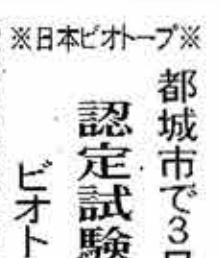
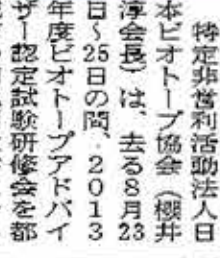
▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため

▽宮崎東諸県圏域
宮崎東諸県圏域の総生産額は、1兆3,259億円、対前年度比2.8%減となった。第1次産業では、農業は増加したものの、林業・水産業が減少したため0.5%減となった。第2次産業では、全ての産業が減少したため



認定試験研修会終了
 都市部で3日間開催
 ビオトープアドバイザー
 特定非営利活動法人日本ビオトープ協会(櫻井淳会長)は、去る8月23日(25日)の間、2013年度ビオトープアドバイザー認定試験研修会を都市部の南九州大学に於いて開催した。

研修会は、都城市、宮崎市、千葉市などから27名が参加し、初めに開校式が催され日本ビオトープ協会の理念や、ビオトープの重要性について、櫻井会長が講演した。この研修会を通じて、研修を積み重ねることで、現場で実践できる人材を育成する。認定試験があり、合格者は真剣に取り組みたい。

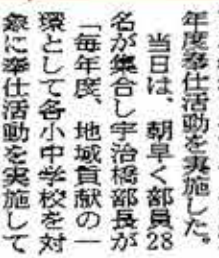
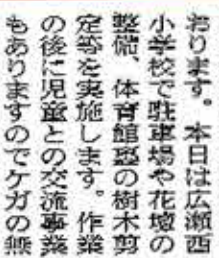
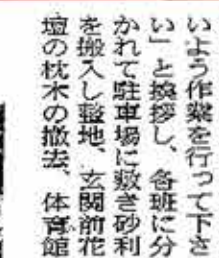
その後、生物学や生態学の基礎講座や交流会、翌日はビオトープづくりの基礎講座やビオトープの事例などの実践講座が催され、最終日にビオトープ現地視察や実習が行われた。認定試験があり、参加者は真剣に取り組みたい。

環境整備や交流会を実施
 平成25年度奉仕活動
 宮崎地区建設業協会青年部
 宮崎地区建設業協会青年部(宇治橋信雄部長・柳宇治樹建設)は、去る8月21日に宮崎市立広瀬小学校に於いて平成25年度奉仕活動を実施した。当日は、朝早く部員28名が集合し宇治橋部長が「毎年度、地域貢献の一環として各小中学校を対象に奉仕活動を実施しております。本日は広瀬西小学校で駐車場や花壇の整備、体育館裏の樹木剪定等を実施します。作業の後に児童との交流事業もありましたのでケガの無いよう作業を行って下さい」と挨拶し、各班に分かれて駐車場に敷き砂利を搬入し整地、玄関前花壇の枯木の撤去、体育館裏の雑木の剪定などを実施した。その後、同校の5、6年生約80人との交流会が催されコンクリートの硬化体験やレンガの積む体験、重機の試乗体験などが行なわれ、同校の川口真弘校長は「駐車場や花壇などきれいな環境が大変ありがたかったです。重機の試乗など児童にとっても貴重な体験ができ喜んでおります」と話していた。

巨大地震を想定した防災訓練を実施
 国土交通省宮崎国道事務所は、来たる9月2日に地震津波防災訓練を実施する。

九州地方整備局では、9月1日の防災の日にあわせて防災訓練を実施しており、宮崎河川国道事務所に於いても、災害対応能力の向上を図ることを目的に「南海トラフ巨大地震(日向灘沖を震源とする最大地震?)が発生し大津波警報が発せさ

安心のパトロール給油
 都城エリアの軽油・灯油・重油の配達のことなら
 宮崎オイル商会株式会社
 都城市都北町7343
 TEL 0986-38-0030 FAX 0986-36-5036
 各種作業油・リース・エンジンオイル 取り扱っております!



交流会、奉仕活動の様子
 りたと想定し、河川・道路の緊急点検、災害状況の情報伝達、災害復旧の机上訓練、地方自治体への支援訓練等の対応演習を予定している。